

中田 初美 議員

日本共産党三田市議団



福祉

「地域福祉支援員」の複数配置と待遇改善を

議員 市では「ふれあい活動推進協議会」と「地域福祉支援員」が協働で地域福祉を担っているが、1名配置では求められる課題には十分対応できず、体制強化は欠かせない。また、嘱託職員であるというのいがかが。

市 地域福祉支援員への必要な支援を行う

地域福祉を支える地域福祉支援員には、地域へ出向く機動力、担い手発掘・育成ができる資質・技術が求められる。その役割が発揮できるよう、人材・体制の確保については社協に働きかけを行い、市も必要な支援を行う。(西本健康福祉部長)

他の質問 ●障がい者施策の充実 ●地域福祉の推進

北本 節代 議員

無党派



医療

安心・納得・あたたかい心のこもった医療の提供を

議員 市民病院において救急での受診の際、当直医が担当の診療外であるという理由で診察ができず、市外の病院で受診となった等の市民からの声を聞いている。地域住民の支えとなる地域の中核病院として、市民の救急に応えるべく対応が必要であり、適切に判断ができる医師・看護師の配置をすべきでは。

市 「地域中核急性期病院」として救急医療の充実に取り組む

三田市民病院の休日の救急体制は、内科系医師1名、外科系医師1名による当直体制で強化に努めている。救急患者受入体制については、「断らない救急医療」をスローガンに職員一丸となって取り組んでいる。

議員ご指摘の案件については、十分な対応や説明ができていたのか内容をよく精査し今後活かしていきたい。(中畑病院副事業管理者)

他の質問 ●災害時の弱者支援 ●教育に関する諸問題

西上 俊彦 議員

市民の会



教育

部活動の現状、今後のあり方について

議員 中学校における部活動は生徒の豊かな人間性の育成に大きな役割を果たしている。生徒数の減少により部活動数が減少している中、部活動の現状、また、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

市 部活動に関する検討委員会を設置

部活動については「学校教育の一環」として位置付けており、スポーツや文化等に親しむことで、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育み「生きる力」の育成に意義を有するものと認識している。現在、検討委員会を設置して部活動の在り方や運営方法等についての検討を進めている。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●防災について ●クリーンセンターについて

田中 秀典 議員

盟政会



交通安全

子どもたちの命を守る交通安全対策を最優先に

議員 登下校における通学路の安全対策として、学校周辺にスクールゾーン設置を。また、学校から離れた場所においても、歩道がない通学路にグリーンベルト舗装を。これらの整備状況と今後の取り組みを伺う。

市 関係機関と連携し通学路の安全確保に取り組む

現在、三田市通学路交通安全プログラムに基づき、各学校からの報告を受け、県や市の道路管理者、警察、交通安全協会などと協議するとともに合同点検を実施し、安全対策を行っている。

グリーンベルト舗装については、3カ年で15カ所に舗装を行った。今後も関係機関と連携しながら安全確保に向けて取り組む。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●自治区・自治会について ●まちづくり協働センターについて ●三田青磁・三田焼と陶芸施設について ●地域防災

田中 一良 議員

新政みらい・維新



防災

指定避難所等のトイレを洋式便器にすべき

議員 指定避難所の1つである城山公園グランド横にあるトイレや体育館などのトイレを、避難時にお年寄りから子どもまで全ての人が使いやすいよう、洋式便器を増やすべきではないか。

市 利用者サービスの観点から整備を検討

このような施設は、災害時というよりも、普段から多くの方が使用されるものであり、利用者サービスの観点から使用される方に配慮した改修・整備を進める為検討する。(浮田危機管理監)

他の質問 ●シティセールスについて ●街路樹の老朽化

大西 雅子 議員

公明党



福祉

弱視者に対する知識普及と自立支援について

議員 弱視者は、視覚機能が低下し回復しない人のことである。中途障害の場合が多い。また弱視者のケアは広く周知されていない。今後弱視力となる中途障害の知識を広めることや自立を促すための支援内容の情報入手が円滑に進められる体制づくりが大事ではないか。

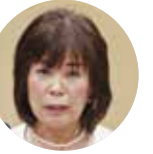
市 弱視者に対する理解促進を図っていく

全盲と異なり身体障害者手帳の取得に至らない場合もあり、専門的な機関につながり難しく、十分な支援ができていないのが現状。今年11月には三田市で、初めてのロービジョンフェアを実施し、今後、積極的に関わり、理解促進を図る。(西本健康福祉部長)

他の質問 ●電気による火災を減らす対策 ●子育て支援

平野 管子 議員

公明党



子育て

三田版ネウボラの支援体制について

議員 これまでから提言してきた、妊娠から子育てまでの切れ目のない支援センターが10月に開設となる。相談者一人一人に寄り添う相談体制としてどのように考えているのか。

市 親子カルテを作成しきめ細かい支援を実施

総合的相談支援をワンストップで行うため、以前から提案があった親子カルテを活用し、全妊産婦・乳幼児を継続的に把握していく。関連機関とサポートプランを策定し、きめ細かい支援も実施していく。ハイリスクがある場合は、関係機関で個別支援会議を開催し見守りを行う。(森市長)

他の質問 ●生活困窮者への食品支援 ●防災の取り組み ●太陽光パネル設置の開発について

厚地 弘行 議員

新政みらい・維新



防犯

防犯カメラの設置について

議員 市は防犯協会と自治会を通じて設置しているが広がっていない。犯罪の抑止効果は高く、千単位で設置する市が出てきている。市が主体的に設置すべきと考える。

市 早急に通学路への設置などを検討

現在は18基の設置であり、駅周辺は設置完了見込みである。更なる安全確保を図るために、地域活動を補完する形でもっと積極的に取り組んでいきたい。通学路に市が設置することを含め必要に応じて行いたい、そのための規模や手法を早急に検討する。(森市長)

他の質問 ●犯罪被害者への救済・支援 ●つつじが丘の地区計画の変更について